

埼玉版スーパー・シティプロジェクト 18団体の新規エントリーについて

市町村のコンパクト、スマート、レジリエントの3つの要素を兼ね備えたまちづくりを県が支援

令和3年度エントリー団体

11 さいたま市、熊谷市、秩父市、入間市、和光市、久喜市、毛呂山町、小川町、鳩山町、横瀬町、美里町

+

令和4年度エントリー団体

新規

18
団体

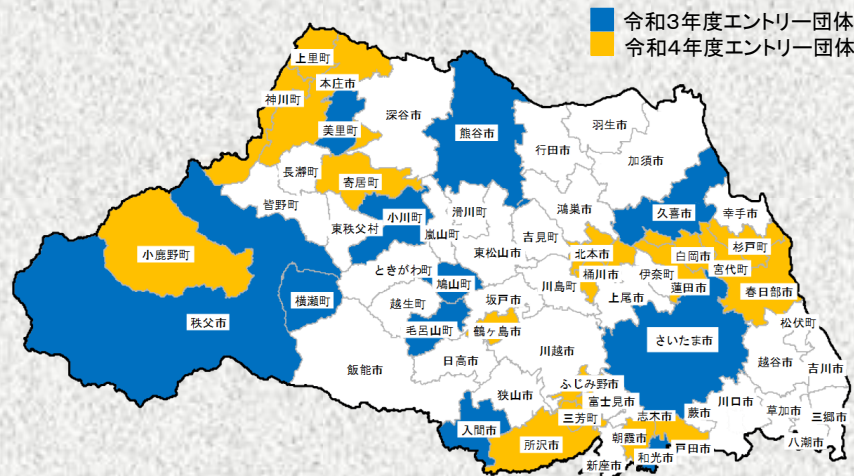
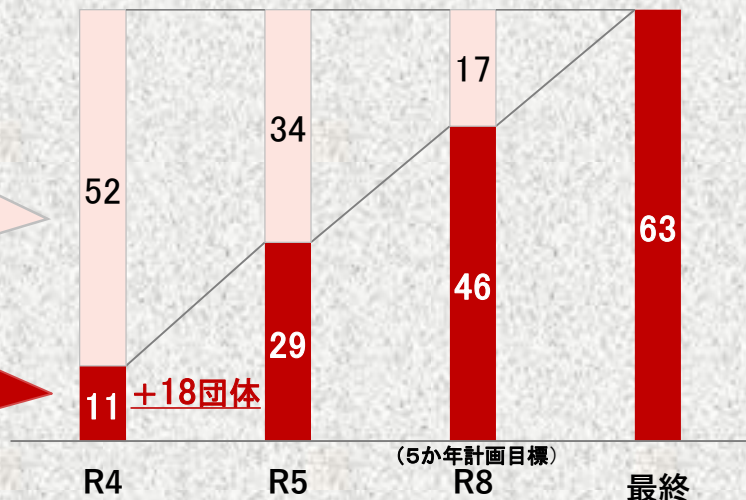
所沢市、本庄市、春日部市、戸田市、朝霞市、桶川市、北本市、蓮田市、鶴ヶ島市、ふじみ野市、白岡市、三芳町、小鹿野町、神川町、上里町、寄居町、宮代町、杉戸町

【エントリー市町村数の推移と目標】

未エントリー
エントリー済

県による働きかけを強化

事業化支援チームによる支援



新規エントリー 18団体の取組の傾向

- 新規エントリー団体の半数に当たる9団体以上が共通して掲げている取組は以下の5つ。
- その中でも、施設の複合化・拠点化（コンパクト）や、利便性の高いモビリティサービス（スマート）、再エネ導入等による災害時電源確保（レジリエント）の割合が高い。

要素	取組	18団体の取組割合	取組団体数
コンパクト	施設の複合化・拠点化	78%	14
	公共空間活用による賑わい創出	56%	10
	ウォークアブルなまちづくり	50%	9
スマート	利便性の高いモビリティサービス	61%	11
レジリエント	再エネ導入等による災害時電源確保	100%	18

各団体の特徴的な取組

所沢市 ゼロカーボンスーパーシティ所沢・GXイニシアティブプロジェクト

スマート

➤ **都市交通や移動におけるエコ・スマート化**

⇒ 各拠点間の公共交通ネットワークの強化・充実（EV、MaaS等）やEVシェアリング等のエコモビリティの導入促進



戸田市 みんな輝く未来共創のまち とだ スーパーシティ構想

スマート

➤ **官民連携による医療MaaSの実証実験**

⇒ オンライン診療システムと医療機器を搭載した車両で患者宅を訪問し、病院の医師とつなぐ医療MaaS実証実験を実施



本庄市 3駅から始まる本庄版スーパー・シティプロジェクト

コンパクト

➤ **訪れたいくなるまちなかの形成**

⇒ 歴史的・文化的資源等、まちなかに残る様々な魅力を活用した、訪れたいくなる、ウォーカブルなまちづくりの推進



朝霞市 朝霞市版スーパー・シティプロジェクト

コンパクト

➤ **人と緑が活きるウォーカブルなまちづくり**

⇒ 歩行者中心の道路空間の再整備、緑の拠点であるシンボルロードや水辺空間を活用した賑わいの創出



春日部市 春日部市版スーパー・シティプロジェクト

コンパクト

➤ **既成市街地の再生と新市街地の創出**

⇒ 既成市街地の再開発及び駅周辺の新たな宅地開発により、都市機能を集積し、選ばれるまちづくりを推進



桶川市 桶川版スーパーシティ：コンパクト・プラス・ネットワーク

レジリエント

➤ **道の駅「(仮称)おけがわ」の整備**

⇒ 地域の魅力や情報を発信し、人々が交流する新たな憩いの場、広域防災拠点として整備



各団体の特徴的な取組

北本市 北本市版スーパー・シティプロジェクト

コンパクト

北本団地活性化プロジェクト

- ⇒ 市と民間事業者4社が連携して高齢化・少子化が進む住宅団地を再生し、地域の賑わいを創出



官民連携による
イベント開催

ふじみ野市 ふじみ野市版スーパー・シティ構想

コンパクト

文化施設整備に伴うコミュニティの醸成

- ⇒ 東西に文化施設を整備し、人と人とのつながりづくりの場を提供。太陽光発電等を活用し、レジリエンスを向上



文化施設整備イメージ

蓮田市 中心市街地のウォークアブルまちづくり

コンパクト

歩いて暮らせる中心市街地の構築

- ⇒ 再開発事業にあわせて整備した複合拠点
を核として、まちなか拠点間の回遊性の向上を図るウォークアブルなまちづくりを推進



複合拠点
(プレックス蓮田)

白岡市 新白岡スーパー・シティプロジェクト-新白岡2.0-

コンパクト

住民主体型エリアマネジメントの導入

- ⇒ 住民等が主体となった、地域交流の促進や公共空間の活用等によるまちづくりに取り組むことで、地域の持続可能な発展を目指す



住民向け勉強会の様子

鶴ヶ島市 歩いて行ける市民センターを拠点としたまちづくり

スマート

図書館スマート化、市民センター機能充実

- ⇒ 市民センターを拠点としたまちづくり推進のため、併設の図書館分室のスマート化、太陽光発電設備・蓄電池の導入等により、拠点機能の充実を図る



図書館のスマート化

三芳町 三芳町版スーパー・シティ構想

コンパクト

施設の複合化等による賑わい創出

- ⇒ 学校・公共施設の複合化による地域交流拠点の整備、農業遺産等を活用した賑わいの創出



学校・公共施設の
複合化イメージ

各団体の特徴的な取組

小鹿野町

OGANOおもてなしまちづくりプロジェクト ～文化と自然が香る町小鹿野～

レジリエント

再生可能エネルギーの活用

- ⇒ 木質バイオマスボイラーや小水力発電、蓄電池の活用により、観光・交流施設のエネルギー自給を目指す



木質バイオマスボイラーによる道の駅への熱供給

神川町

コンパクトな町でフレキシブルに暮らす

スマート

スマート物流の導入

- ⇒ ドローン等を活用したスマート物流の導入により、日用品等の配送、災害時の物資輸送を実現し、安心・安全な暮らしを確保



ドローン輸送イメージ

上里町

「ひと・もの・しごと・情報」が行き交うハーモニータウン上里

コンパクト

賑わいある拠点形成とコンパクトなまちづくり

- ⇒ 駅周辺の中心拠点と上里サービスエリア周辺の観光・交流拠点を整備するとともに、空き家・空き地を活用して賑わいを創出



駅周辺の整備イメージ

寄居町

よりのスーパータウンプロジェクト

コンパクト

中心市街地の魅力向上、にぎわい創出

- ⇒ 歩きたくなるまちを目指し、今春オープンの駅前拠点施設「Yotteco」と広場を活用した中心市街地の活性化・にぎわい創出



駅前拠点施設イメージ

宮代町

宮代版スーパー・シティ構想

スマート

スマート農業の導入検討

- ⇒ 「農」をテーマとする施設『新しい村』を中心として、スマート農業の実証事業等を実施



「新しい村」

杉戸町

杉戸町版スーパーシティプロジェクト

コンパクト

東武動物公園駅東口の賑わい創出

- ⇒ 東口通り線周辺のウォークアブルなまちづくりに加え、小学校跡地に認可保育所や公園、コミュニティセンター等を整備



小学校跡地活用イメージ

主な支援の内容

【1】市町村事業化支援チームによる支援

- プロジェクトにエントリーした市町村ごとに県関係課で構成する事業化支援チームを編成し、プロジェクトの具体化を支援
- ワンストップ窓口(県エネルギー環境課) が一括して市町村の相談に対応

【2】プロジェクト推進補助金による財政支援

- プロジェクトに基づくまちづくりについて、検討等を支援する①事業化検討補助と、事業実施をソフト・ハードの両面から支援する②事業推進補助により財政的に支援

＜令和4年度活用例＞

- ・データ利活用調査(熊谷市)
- ・賑わい創出拠点整備のための調査事業(横瀬町)
- ・学校跡地再編関連事業(小川町)

【3】まちづくりに関する技術支援

- 市町村の状況に応じたオーダーメイド型支援
 - ・ウォークアブルなまちづくりや市街地開発事業などの都市整備手法に関する技術面での助言・提案を実施
- 先進事例の研修会
 - ・市町村の担当者向けに、まちづくりに関する先進的な取組を視察する研修会等を実施



【4】企業とのマッチング支援

- 応援企業等登録制度
 - ・市町村と連携・協働してまちづくりを推進する意思がある企業・団体を登録し、県が市町村とのマッチングを実施(令和5年1月末現在:96)
- 市町村と企業との交流会
 - ・マッチングを促進する県主催の交流会の開催

